

火災から命を守るために

皆さんが普段利用する建物で火災が発生したら、どのような行動を取りますか？また、いつも使う出入口や階段が炎や煙で塞がれたら、どのように避難しますか？

令和3年12月17日、大阪市で発生した雑居ビル火災では、放火による爆発的な火災からの「避難行動」について、あらためて一人ひとりが考えなければならないことを再認識する結果となりました。

もしもの時の対応について、日頃から「避難行動」について考えましょう！

1 普段からの心得

- ① 利用する建物の複数の避難経路を確認しておきましょう。
- ② 避難障害となる物品などが階段や通路に置かれていないか確認しておきましょう。
- ③ 設置された避難器具の使い方を理解しておきましょう。

2 もしも火災に遭遇したら

- ① 最適な避難方法を選ぶ
 - 2階以上にいる場合は階段での避難を第一に考える
 - 階段が使用できず、避難器具が設置してある場合は、避難器具を使用する。
- ※ 避難器具 = 避難はしご、緩降機、救助袋など

避 難 器 具
ESCAPE EQUIPMENT



避難器具の設置場所は
この標識が目印！

- 階段が使用できず、避難器具も設置していない場合は、窓から助けを求める又はベランダへ避難し助けを求める。

- ② 避難した部屋に煙を流入させない
 - 出火室の扉を閉める
 - 外気に面した窓を開放する
- ※ 防排煙設備を有効に活用しよう
- ③ 煙から逃げるポイント
 - 姿勢を低くする
 - タオルや服等で口や鼻を覆う

消防器や屋内消火栓設備などを使った初期消火が困難であるときは、「避難」を優先して直ちに避難行動を開始しよう！



煙の恐ろしさ

1 煙の特性

- ① 煙は一般的に垂直方向で毎秒3～5m、水平方向で毎秒0.5m～1mの速さで広がる
→ 人が歩く速さは1分間に約60～80m（秒速約1～1.3m）なので、煙が垂直方向へ広がるスピードの方が早い！
- ② 煙は熱によって空気より軽くなり、天井方向へ上昇し、天井にあたると横方向へ広がる。広がった煙は徐々に床方向へ下降する。
- ③ 煙には一酸化炭素等の有毒なガスが含まれている。

2 一酸化炭素の恐ろしさ

- ① 一酸化炭素は血液中のヘモグロビンと結合するため、体内に酸素が運ばれれず、呼吸困難になる。
- ② 高温の煙を吸うと、気道や肺などが火傷し危険な状態となる。

一酸化炭素は毒性が強く、少しでも吸い込むと危険な状態になります。絶対に吸わないように気を付けましょう。



3 前が見えなくなったら

- 姿勢を低くし、壁に沿って避難する
- 姿勢はできるだけ低くする（ほふく等）
 - 壁に沿って避難すると扉や窓にたどり着く可能性が上がる
 - 誘導灯が確認出来たら、その方向へ避難する



避難口誘導灯



通路誘導灯



問い合わせ先

消防本部 予防課 保安係	022-316-1616
塩釜消防署 予防調査係	022-361-1634
多賀城消防署 予防調査係	022-355-9704
松島消防署 予防調査係	022-354-4226
七ヶ浜消防署 予防調査係	022-357-4349
利府消防署 予防調査係	022-356-2251



<http://sioshou.jp/>